

第三国 の 報 道

○1943年3月末のワシントンポスト紙より：アメリカ国防総省の信頼できる筋から得た情報によると、今月中ほどイエール方面に派遣された、空母「エンタープライズ」を主力とする艦隊は、イザベリア軍による航空攻撃を受けた模様。これによる同艦隊の損害は皆無とのことであるが、この戦闘によって、イザベリア側はレーダー技術を既に実用化している可能性が高いことが、明らかになったそうである。

○同月中頃のタイムより：現在の世界的大戦争の一環であるイエールーイザベリア戦線において押され気味のイエール王国の南部で、王制打倒をスローガンとする、民衆による暴動が発生した。彼らはこのところたて続けの連敗がもとで生活が苦しくなり、生活環境の改善を求めてこのような行動を起こしたものと思われる。現時点においてこの暴動は未だ鎮静化の兆しを見せず、むしろ軍隊までがこれに加わり、拡大化の動きさえ見せている。

これはかなり組織的なものと見られ、今後イエール政府が、イザベリアとの戦争と並行して、どのようにこれに対処するかが注目される。

質問

Q 1 : 今度から新しく入ってくるキャラは、制式解除された機体には申請しないと乗れませんか？もしそうだとすると、初めてのキャラクターの使える機体が2つしか無いんですが。

(千葉県・鈴木敬純)

A 1 : B f 1 1 0 もあるけど？…それはそうとして、制式解除された機体を新しく手に入れるには、おっしゃる通り申請するしかありません。当然ながら、値段は変わりますよ。

ただ、これらの機体は、初めから制式でない機体よりは通り易いです。

Q 2 : 機体の値段が高すぎる。どうにかならないんですか？(秋田県・菅原忠幸)

A 2 : 今度発売の機体リストで、両軍共に機体レベルの変更と値下げをもう一度やります。それで我慢して下さい。

Q 3 : 「哨戒」任務に護衛は付きますか？ (愛知県・古橋道生)

A 3 : 一切付きません。自分の防御火器だけが、盾です。

Q 4 : 宇垣さんのPBMって何ですか？

宇垣 : ロボット・バトル・レースです。詳しくは「S H I F T」でね♡

栗田姉妹の P B M 過歴

榛名 : 今回はイエールで参加中の片岡氏のサークル、「Fantastic Fighters Family」についてやります。ここは私たちの話が連載されるはずだったのですが、片岡氏の事情で会の運営自体がストップしてしまい、1回だけしか載りませんでした。仕方が無いので(笑) 今月から、このA-Sのオマケとして月4ページずつ連載されることになりました。これで続きが見られますね。片岡さん♪

ここはあの「ペリー・ローダン」をベースにした宇宙戦PBMをやってました。設定は比較的ラフでしたが、安心できる感じのサークルで、とても好きだったのですけれども…。会報が手書きだったことも、大きな特徴でしょう。ワープロ原稿と

違って、肉筆の原稿というのは、それなりの暖かみがあるものです。それにしても片岡氏は字が上手い！いずれ再開されることを期待してます。

…それでも終わり方が呆気無かった。終了通知が来た時には、余りの事に唖然となつたものです。ま、人それぞれのやり方ってものがありますから、多くは言いませんが。それでも……心残りですね。

NOTICE !

①次回より結果発表の重量がまた増えます（多分）ので、参加料金を変更いたします。基本が5人まで200円で、それとは別に175円切手を同封して下さい。キャラクター数超過分の料金計算は、従来通りです。

※参加キャラ数には今まで通り上限はありませんが、なるべく5人までで抑えて下さい。

※※参加する際には、上記の料金の他に名刺大(約5.5cm×約9cm)の、あなたの住所を鉛筆以外の黒色で明記した「宛名カード」を、必ず同封してください。

②当ゲームの処理系スタッフは、めでたく全員高3に進級いたしました。（拍手！）それにより、これから当分の間、受験態勢に入ることになります。はじめは月一回ペースを維持するつもりでしたが、やはり無理があるので二月一回ペースに間隔を開けさせていただきます。内容低下を最低限に抑え込むためには、こうした方がよいと判断したためですので、どうか御諒承下さい。

注意

①所定の欄にキャラクターネームの無いものは、その場で無条件に失格扱いとなり、スコアその他はリセットされます。

②キャラクターの所持金が400zgを越えていても、また重傷になった場合でも、まったく連絡の無い場合には、次の作戦締切日をもってそのキャラのデータは無条件で消去されます。また、参加料金にはこれら作戦不参加の者の分も含みます。

③「レベル」欄にはそのキャラの階級（准尉・少尉etc）だけを記入しましょう。

④製本工程の時間短縮のため、今回をもって、締切りまでに無連絡だった方への結果発表の発行を、打ち切らせていただきます。あしからず御諒承下さい。

⑤今回の締切りは4月30日（必着）です。速達は絶対に避けてください。

編C 後記

菊地：今回、少しPCのリプレイを付けてみました。…片岡さん、とりあえずこんなもんでどうでしょうか…？何せ今の我々の生活サイクルでは、これくらいが限界です。

正宗：そろそろ来るだろうなと思っていたら、やはり来た。定期発行も大切だが、これからは質だ。PCリプレイ…せいぜい菊地には死んでもらおう。

岬：↑いいのかよ、受験だぜ…。まあ他人事だからいいけどさ。

宇垣：現行A-S trikeのパワーアップバージョンが、現在企画進行中です。その名も「More A-S trike」！中級以上のPBMプレイヤーを対象に、キャラクターパラメーターから機体の細かな装備まで自分で設定できるという物！発表は来年でしょうが、乞うご期待！

榛名とはるな

本居こじ・作

初めに：この話を「常識」で読もうとすると、絶対に頭が爆発します。必ず読む前に頭の中をまっ白にしてから、お読み下さい。

作者

序：1990年代末に開発に成功した物質縮小技術は、そのコストの高さからまだ実用化というには程遠かったが、目をつけた模型業界によって発展し、「可動模型」、即ち人が乗って動かす事の出来る模型が世に登場し、最初に出品された物の商標「Moving Model」を略した「MM」と呼ばれ親しまれるようになった。初めは少数派であった「MM」派も、自分が乗って随意に動かす事ができる、ただその一点によって急速に普及し、世界的に認められるに至った。そしておよそ人が乗る事が出来ると想像できる全ての種類の物はMM化された。大体の場合、それらは72分の1だった。

しばらくして、日本においても大抵の学校…女子校を含め…に何らかの形でMMの愛好会が設置され、MM自体の発展に寄与した。

この話はその中でも、珍しく「模型部」が運動部を含めた全体のクラブの中で最大の勢力を誇り、生徒会をも牛耳っている中高一貫全寮制の男女別学校、「真鶴学園」の双子の姉妹の話である。

姉は“榛名”と言って模型部の「MS（船舶）班」におり、妹の方は「MF（航空）班」において“はるな”という名である。なぜ同音なのか、というと、旧海軍好きの父と、海上自衛隊（海自）好きの母の、相思相愛が仇となつたのだ。

ACT. 1 The Synchronized Twin Sisters.

「飛行中のF-14に告ぐ。貴機は真鶴学園の領空を侵犯している。直ちに脚を降ろしてこちらの指示に従え」

F-15で迎撃をかけたはるなは、幾度目かの警告を行なつた後に、地上の本部に連絡した。

「敵機、反応しません」

「了解、学校上空到達前に…誰、今SAM打ったの!?」

冷静だった地上管制担当の生徒の声が、黄色く裏返つた。

迫り来る白煙を見つけて、短く舌打ちすると、はるなはF-14が回避行動に移る前にF-15の機首を振り、20mm砲弾を毎分4000発ペースで浴びせかけた。折よくもパイロットが射出されたその時に、SAMの方もF-14に命中した。

「危なかった…」

彼女はマスクをとつて、口のまわりの汗を拭いた。

「ん？」榛名は缶コーヒーを飲みながら、軽く鼻声で応じた。「なんだって？」
「とほけんじゃないわよっ！」察の造り付けテーブルに手を突いて、はるなはまくし立てた。「あん時スタンダードぶつ放したのあんたでしょうっ！」
「少し違う」右手人差指を立てて制止しながら、榛名はおどけた。「あれはシースパロー」「どっちだって同じよ！」はるなはおさまらない。「あたしに当たつたらどうしたつもりなの!?」

「それはそれで、御愁傷様、と」

この一言で、見事にはるなは毒を抜かれた。

首を振りながら肩をすくめ、彼女は2段ベッドの下段に座つた。

「あれはあたしの獲物だったのに」

「いつまでたっても落とさないからよ…と、私はこれから夜間戦闘の訓練なの」

榛名はそう言い残して、部屋を出ていった。彼女は海自DE「ちくご」型護衛艦の艦長を務めていたのだった。

学校によっても異なるが、海軍系なら大抵の場合、入部1年目は軽いテストを受けた後におよそ半年間の訓練を受けるか、いきなり艦に乗務するかが決まり、その後はやがて戦績や定期的な「昇進」によって艦長や艦隊司令となり（一部はずっと水兵クラスのままで“鬼軍曹”的役を演ずる事になるが）、最も昇進する者は部長となる。

真鶴もまたそのパターンであり、榛名はそこに中1の初めから在籍した。彼女は同期の中でもすば抜けて優秀であり、中2になった時点で補給艦を一隻任された。そして半年経たないうちの対外試合で難しい補給を見事に成功させ、新しく旧海軍DD「陽炎」型駆逐艦の艦長となり、その1月後の対外試合では1隻だけで戦艦2隻、空母3隻撃沈の功績を挙げた功で今の艦の艦長を任される事になったのだ。

彼女の武勲が、歳にしては大きすぎる事を妬む声もあったが、しかし戦果は事実の物であり、余り広がる事は無かった。第一、校内・校外を問わずファンの数が多かったのだ。そして今、彼女は中3である。

彼女の艦の名は「あやせ」。海自の体験航海で、彼女が初めて乗った艦の名をそのまま付けたのだ。基本武装は3インチ連装速射砲1基、8連装アスロック対潜ロケットランチャー1基、40mm連装機関砲1基、3連装短魚雷発射管2基を備える。ただし榛名の艦では、アスロックのランチャーが4連装分、対空ミサイル用に転用されている。

その他の性能としては、基準排水量1470t、全長93m、全幅10,8m、深さ7m、平均喫水3,5m、速力25ノット、主機関ディーゼル4基、軸馬力16000HP、定員は10名となっている。寸法のデータはすべて縮小前の基本データである。

「両舷微速。前進」榛名の指示から10秒もせずに、「あやせ」は主港の岸壁から離れ、先に離岸していた米海軍CG「タイコンデロガ」型イージス式ミサイル巡洋艦「オルフェウス」につき従うように出港していった。「あやせ」と「オルフェウス」では、倍近い大きさの差がある。

そしてそれと時差を付けて、旧海軍DD「朝潮」型駆逐艦「つきなみ」と、WWⅡ型米軍PTボート「るくしおん」が出港していった。

はるなの方はというと、自室に戻ってすぐにベッドに入ったものの…寝付けずにいた。

「……」

ふと、外を見たときの事である。およそ榛名たちの演習が行なわれている辺りで、たて続けに3度、閃光が現われた。不安にかられてベッドから降り、窓から顔を突き出すと、すぐに伝令当番の中2が駆け込んできた。

「栗田先輩！大変です!!」彼女は息を切らせつつも、正確に情報を伝達しようと努力した。
「さっき出港したMSの演習艦隊が事故起こして…4隻全部沈みました！」

「何だって！」

「先輩は2式大艇で救助出動です、急いで下さい!!」

「ほかには何が出るの！」

「後使える機はCH-53重輸送ヘリコプターが3機だけです」

「わかった！」彼女は装備を揃むと、飛行艇発着場へ走った。

それより少し前の事、真鶴学園女子部の主港からおよそ15キロばかり沖合では、後方から迫る魚雷の航跡を発見して、榛名たちの艦隊はそれぞれ逆に舵を切っていた。ところが、「オルフェウス」はレーダーを停止——想定状況では、「オルフェウス」は索敵能力を失っていた——しており、「あやせ」も大して変わらない状況であったのだ。つまりこの演習では、完全に目かくしされた状態で、どう逃げるかの訓練だったのだ。

さて、この「オルフェウス」を確実に一撃で仕留め、あわよくば随行の「あやせ」もそれに巻き込むとしていた「つきなみ」は、逃げる間もなく見事に艦の脇腹へ「オルフェ

ウス」に突っ込まれる形になった。弾薬庫付近だったからたまらない。弾頭は練習用即乾シリコン配合接着弾だからよかったです、発射用の炸薬（ニトロセルローズ）が爆発し、艦は2つに割れた。

居住区画はそれより前に自動放出されて、中の生徒たちは無事だった。「オルフェウス」もそれに巻き込まれた。乗員はやはり、放出された。

一方の「あやせ」は、これを救助しようとした（放出された居住区画に自己航行能力はない）が、似たようなコースを突進した「るくしおん」に突っ込まれて、大破横転した。「るくしおん」はあっけなく居住区画を放出して、爆沈してしまった。

現場の発見は非常に容易だった。火災が続いているのだ。着水点を決めてそこへ静かに降りると、後は滑水して現場に寄った。他の乗員が降ろしたハシゴから、4, 5人の生徒が乗り込んだ。定員の20人を回収し終えるまでに、10分とかからなかった。

やがてヘリがやって来た。彼らが回収を始めるのを待って、はるなは離水した。
「あの阿呆はどの機に乗ったやら…」榛名の飛行機嫌いを知悉するはるなは、ふと呟いた。

「阿呆で悪かったね」カツ、と後頭部に固い物が当たった。他ならぬ榛名だった。

「あらいたの」はるながうそぶく。

「“士官”はエアガンを携行できるのよね」

「機内じや機長が法よ。手の物をおしまいなさい」

ふと、榛名は下の方に目をやった。榛名の物と同じ銃口があった。

「C z 75でしょ」はるなは前を向いたままだ。「私も一応“士官”なのよね」

「…」榛名は銃をしました。「ま、口にはお気を付けあそアセ」

「お嫌でしたらここからダイビングします？」

「…結構」

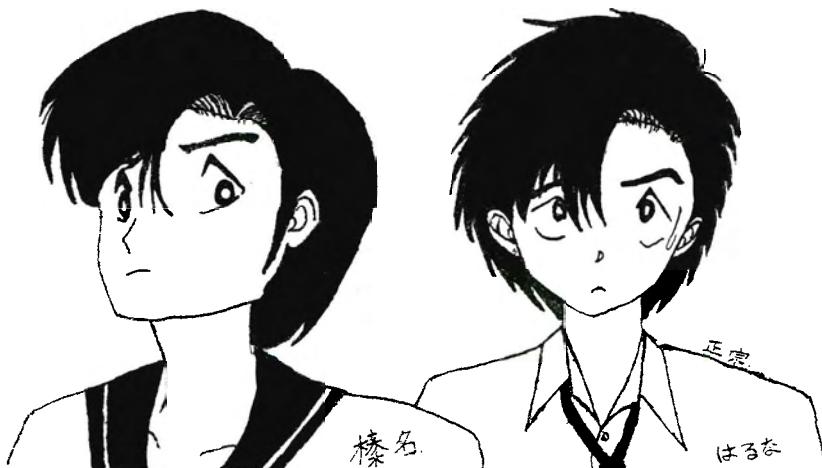
「先輩、そろそろ着水点です」見かねた副操縦士が言った。あまりにハタ目に不毛だったのだ。「そろそろ降下しないと」

「そうね」

後日、大破した「あやせ」は回収後修理され、再び榛名の許に帰った。

(A C T. 1 了)

※正宗君が栗田姉妹のイラストを作ってくれました。彼は元々メカイラストのトレースが「本職」なので、人間画はヘタクソですが（正：悪かったな）、まあ、参考程度を見てやって下さい。



制服には2タイプあるらしい。
榛姉はこの絵だと不良っぽく
見えるが、実はカタギであるそうだ。
つくづく菊池はハンサムである。

PRINCIPALITY
OF ISABELIA

國境

ROYAL
VALE

都

600km